

近畿病院図書室協議会第36回勉強会

研修部

日 時：2013年7月20日(土) 13:00~17:00

場 所：神戸労災病院 7階大会議室

テーマ：新任者勉強会

プログラム：

1. 近畿病院図書室協議会について
藍野大学中央図書館 増田 徹 氏
 2. 病院図書室の基本業務
洛和会音羽病院図書室 藤原 純子 氏
 3. 文献入手 (ILL) について
京都桂病院図書室 椎木 淳美 氏
 4. KITOcat の使い方
京都第二赤十字病院 川野 眞樹 氏
 5. 神戸労災病院図書室見学
神戸労災病院図書室 田中 浩章 氏
- 参加者数：18名(講師を含む)

1. 近畿病院図書室協議会について
事務局長より、近畿病院図書室協議会創設時の説明があった。この協議会を立ち上げてくださった首藤氏、山室氏、重富氏の手記¹⁾を読み、当協議会の一員であることの重みを感じる講義であった。

図書館員を取り巻く雇用環境は厳しいが、図書館員自らが声を上げ、存在、その重要性を認識してもらうべく、日々不断的の努力が必要であると学んだ。

2. 病院図書室の基本業務
図書館員の役割について学ぶとともに、図書業務に関する幅広い知識を得ることのできる講義であった。それぞれの項目で参考となる書籍や URL が紹介されており、初任者向け参考テ

キストとして、反復学習することが必要である。

3. 文献入手 (ILL) について

文献相互貸借 (=Inter Library Loan) の流れについて説明があった。

JMLA (日本医学図書館協会) 発行の『相互利用マニュアル第5版』をもとに、初任者にもわかりやすく、ILL の流れ、書誌確認方法、具体的に PubMed、医中誌の使い方も教えていただいた。支払方法についても説明がなされ、初任者以外の担当者にとっても、日々の業務を見直すよい機会となった。

4. KITOcat の使い方

KITOcat の利用について、目録サポートチームの川野氏より説明があった。ログイン認証に始まり、管理・機関情報の修正・所蔵データの修正や、実際に ILL を申し込む際の入力方法まで、実務に直結する内容であった。

5. 神戸労災病院図書室見学

分類方法や配架について、担当者へ直接質問できる貴重な機会であり、初任者から多数の質問があった。

今回は、開催地が神戸であったことから、神戸の図書館担当者の参加が目立った。

今後も、さまざまな地域で勉強会を開催し、多くの図書館担当者の勉強会参加を実現したい。

参考文献

- 1) 首藤佳子, 山室真知子, 重富久代, 千住とも子: 協議会創設のころ. 病院図書館. 1990; 10: 30-5

(文責：雨乞久美/大阪赤十字病院)